

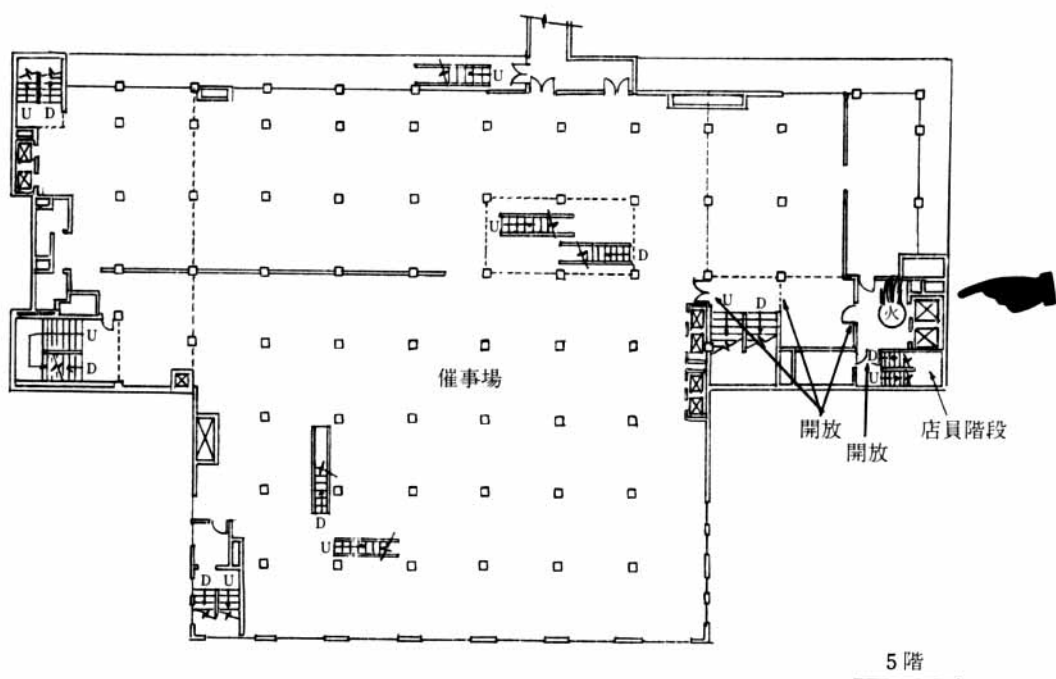
名称 所在	用途 (令別表)	発生日時等	構造・階層 面積	焼損程度 (焼損面積) 延面積	死傷者
野沢屋百貨店 横浜市中区 伊勢佐木町 1～5～6	百貨店 (4)	昭和45年9月9日	耐火 Ⅱ	全・半・部・小	死者 1名
		出火15時57分ころ 覚知16時03分 覚知別 報知電話 鎮火17時50分	建 3,221m ² 延 21,955m ²	145m ² (0.7%)	傷者 1名 ()

I 火災概要								
① 概要	百貨店の5階エレベーターホールから出火し付近に山積されていた包装用段ボールに延焼し開放されていた防火戸から売場へと延焼したがスプリンクラーが作動し延焼阻止に部分的効果をあげた事例である。スプリンクラーは部分的ではあったが全館に設置されていたことと、百貨店が定休日で客がいなかったことが幸いした。							
② 階 別 状 況	階	床面積 m ²	焼損床面積 m ²	用途(売場)	在館者	死者	避難設備等	消防用設備等
	R	305	23				屋内階段 (5箇所)	消 内 SP 自
	7	1,071	71	売場		1		
	6	2,727	19	"				
	⑤	2,922	32	"	20			
	4	3,201		"	85			
	3	3,201		"				
	2	3,201		売場				
	1	3,201						
	B1	2,128						
	合計	21,955	145		85	1		
③ 出 火 場 所	(階、室、部位、可燃物状況、居室・非居室、在・不在) 5階エレベーターホール 当日、定休日で翌日から始まる家具特別セールのため、商品の陳列等を行っており、空になった包装箱等を5階エレベーターホールに積み上げてあった。				④ 出 火 原 因	出火場所が5階エレベーターホールで、ゴミ収納のダンボール箱から出火しているところから、原因は「マッチの投げ捨て」と推定。		

⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">(出火部位) 5階エレベーター ホール</div> <div style="text-align: center;">(出火室の拡大) ホールに放置 されたダンボ ール箱</div> <div style="text-align: center;">(他室への拡大) 開放状態の防火戸 (甲種防火戸)</div> <div style="text-align: center;">(上階への延焼) 職員用階段</div> </div>			
	<p>5階エレベーターホールより出火した火災は、同ホール内に放置されていたダンボール等の空箱を燃焼して火点前面の開放された状態の甲種防火戸より延焼したが売場に設置されたスプリンクラーが作動し延焼を阻止している。一方、右側の防火戸開口部分から美容室（スプリンクラー未警戒）へ延焼した。付近にスプレー等の爆発性のものが多数あったため延焼拡大したが消防隊の注水により消火された。また、火点左側の防火戸（甲種）開放部分より職員階段に置いてあった物品が媒介となって上階へ延焼したがヘッドの散水と消防隊の注水により消火されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 延焼拡大した主な理由 初期消火の効果も空しく、拡大した原因に出火場所付近に商品を抜き出した後のダンボールと美容室にスプレー等の爆発性物品が多数あり、かつ、階段部分に多数のダンボール等の雑品があったため延焼拡大した。 ○ 煙の伝播経路 職員階段から伝播。 			
II 火災建物概要				
① 建 築	着工・竣工又は主たる改築等 昭和28年5月まで米軍に接収されていたため、終戦前の状況は不明である。（増築）昭和37年1月23日 （増築）昭和37年10月3日			
管 理 状 況	② 縦 穴 の 状 況		③ 防 火 管 理 状 況	
	階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input type="checkbox"/> エレベーター <input checked="" type="checkbox"/> パイプシャフト <input type="checkbox"/> エスカレータ <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 特記なし		防火管理者及び消防計画に基づく自衛消防隊が設置され計画に基づいて毎月総合点検・訓練が実施されていた。	
管 理 状 況	④ 防 火 区 画 等		⑤ 消 防 用 設 備 等	
	防火区画用シャッターは、常時容易に閉鎖できるように管理すること。 階段室及び付近通路の物置は除去すること等について査察で指導されていた。		未警戒箇所のスプリンクラー設置を促進するよう査察で指摘されていた。 避難器具の周囲は十分操作のできるように改修すること。誘導灯に非常電源を設置するよう指導されていた。	

III 火災後の行動						
① 発 見 状 況	<p>○発見者 (作業員) ○発見の動機 (煙と炎が出ているのを見て) ○発見後の行動 ()</p> <hr/> <p>当日は定休日各階で商品の入替え作業を行っており、出火階の5階エレベーターホールに家具包装用の段ボール等が山積された状態となっていた。このホールから煙と炎が出ているのを付近で作業中の数名の作業員が発見している。また同時刻頃に自動火災報知設備も発報した。</p>					
② 通 報 状 況	<p>通 報 した <input checked="" type="checkbox"/> (保安係員) 出火後約(6)分 しない <input type="checkbox"/></p> <hr/> <p>○当直責任者K係長(39才)と警備員Uは、火災感知器が7・6・5階と連続警報したので、他の警備員2名とともにエレベーターで5階、7階に上がり、火災状況を確認通報、初期消火の連絡を行った。消防局指令室へは店の保安係及び一般通行人より通報されている。 ○第1報は通行人(男)からの通報で続いて5本の通報があった。</p>					
③ 初 期 消 火 状 況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">消 火 し た</td> <td> 成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> </td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;"> (理由又は状況) ○客用エレベーターを点検中の外来作業員6名が付近の消火器で初期消火を行い、床部分は消火に成功したが、天井部分が残し、延焼拡大した。出火した出火点付近には、屋内消火栓があったが、その存在を知らなかったため使用されていない。 ○警備員が駆け付けた時点でも、濃煙と熱気のために消火活動は不能で、警備員を中心とする自衛消防隊は4階の屋内消火栓を延長して、5階部分の延焼防止にあたった。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">消 火 し ない</td> <td> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/> </td> </tr> </table>	消 火 し た	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) ○客用エレベーターを点検中の外来作業員6名が付近の消火器で初期消火を行い、床部分は消火に成功したが、天井部分が残し、延焼拡大した。出火した出火点付近には、屋内消火栓があったが、その存在を知らなかったため使用されていない。 ○警備員が駆け付けた時点でも、濃煙と熱気のために消火活動は不能で、警備員を中心とする自衛消防隊は4階の屋内消火栓を延長して、5階部分の延焼防止にあたった。	消 火 し ない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
消 火 し た	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) ○客用エレベーターを点検中の外来作業員6名が付近の消火器で初期消火を行い、床部分は消火に成功したが、天井部分が残し、延焼拡大した。出火した出火点付近には、屋内消火栓があったが、その存在を知らなかったため使用されていない。 ○警備員が駆け付けた時点でも、濃煙と熱気のために消火活動は不能で、警備員を中心とする自衛消防隊は4階の屋内消火栓を延長して、5階部分の延焼防止にあたった。				
消 火 し ない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>					
④ 消 火 活 動 概 要	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <p>○先着隊現場到着時、5階東側窓から黒煙が噴出しており、無窓階に近い排煙消火活動は困難を極め、6階、7階に延焼したが、8階よりの注水に成功、1時間40分の消火活動で鎮圧した。 ○出場隊の空気マスクは25基50本を使用し、とくに空気マスク補給隊を出場させている。 ○出火場所、延焼部分が従業員専用階段通路ということで、狭隘構造、加えて屋上よりの進入が鉄製扉の施錠が固く開放出来ず濃煙と熱気により進入困難で消火に時間を要した。</p>					

	避難方法	避難上支障事項
⑤ 避難 状況	○階段を利用 <input type="checkbox"/> (人) ○エレベーター、エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> (人) ○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> (人) ○窓、開口部から直接地上へ <input type="checkbox"/> (人) ○救助 <input type="checkbox"/> (人) ○その他() <input type="checkbox"/> (人)	○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良,機能不良,未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
⑥ 死者 の 状況	健康人 1名 (泥酔者 名) 要保護者 名 乳幼児 名 高齢者 名 身体不自由者 名 病人 名	避難上支障となった事項 ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良,機能不良,未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
IV 問題点・教訓等		
1. スプリンクラー設備が作動したことにより売場側への延焼を阻止し極めて有効であった。 2. 防火戸(完全閉鎖)が延焼阻止にきわめて有効であった。 3. 避難階段、普通階段などの階段部分の商品の陳列、雑品の集積は、厳格な取締り指導をしなければ延焼拡大はもちろん、人命危険がきわめて高い。 4. デパートなどビル火災には、上下階からの“はさみ打ち攻撃”がきわめて有効であるので屋上空地には拡張した遊戯施設のため有効な面積が少なく、避難消火活動上大きな問題がある。 5. 定休日、工事中の時などは特に外来従業員等へ防火管理を徹底させるとともに、チェック体制を強化し、あわせて店内消防用設備等の所在を確認させ、その訓練を行わせる必要がある。		



※ 死焼者は、5階火災報知機の作動・警報により、1階から店員2名とともにエレベーター利用し、火点確認のため7階に至り、ドアが開放したとたん火炎にあおられその場に昏倒したので、同乗の係員と一緒に降下したが、火炎による負傷のため病院搬送後死亡した。